

地震に強い住まいづくりを3つの事業で支援します

昭和56年から、より強い地震に耐えられるような建物を建てるよう法律で定められています。

平成7年の阪神・淡路大震災において、昭和56年以前に建てられた住宅は昭和57年以降の住宅と比べ、5倍以上の被害がありました。また、平成30年の大阪北部地震では、ブロック塀などの倒壊による犠牲者が発生しました。

家 や塀が壊れると、周囲に次のような影響が出る可能性があります

消防車や救急車が通れない

お隣の家を損傷する

火災発生や大規模火災

避難路を危険にする

地 震に強い家や塀にするためには・・・

① 家の状態をチェックしよう！～木造住宅耐震診断支援事業～

耐震診断員を派遣し、耐震診断を実施します。

◆対象住宅

- ①昭和56年5月31日以前に建築
- ②在来軸組構法または伝統的工法により建築された木造住宅で、地上階数が2以下
- ③一戸建ての専用住宅または併用住宅（延べ床面積の1/2以上が住宅で、住宅以外の床面積が50㎡以下）
- ④現在、居住している
- ⑤建築基準法に違反していない
- ⑥過去に同じ制度により耐震診断を受けていない

◆個人負担額

延べ床面積	診断費総額	個人負担額
200㎡以下	147,000円	11,000円
200㎡超～250㎡以下	168,000円	32,000円
250㎡超～300㎡以下	189,000円	53,000円
300㎡超～350㎡以下	211,000円	75,000円
350㎡超～400㎡以下	232,000円	96,000円

② 家を耐震改修しよう！～木造住宅耐震改修支援事業～

上記の耐震診断事業を実施した結果、倒壊する可能性があるとして判定された場合に、耐震改修工事などの費用の一部を補助します。

◆対象住宅

- ・耐震診断の結果、倒壊する可能性があるとして判定された住宅
- ・耐震診断後、増改築をしていない住宅

◆補助金額

(工事費 + 設計費 + 現場管理費) × 23%
※上限額 838,000円

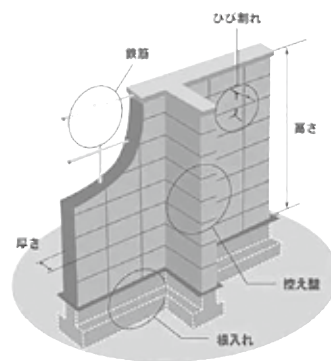
③ ブロック塀の管理もしよう！～ブロック塀等耐震改修促進支援事業～

◆補助対象塀

- ・組積造の塀またはコンクリートブロック造の塀
 - ・通学路または避難路沿道にあるもの
 - ・工事業者などの耐震診断において、危険性があると判断されたもの
 - ・道路面からの高さが1m以上のもの
- ※その他要件あり

◆補助金額

工事費 × 2/3 ※上限額 120,000円



【お問合せ先】 三戸町役場 建設課 ☎ 20-1154